

「青少年の非行・被害防止全国強調月間」 高校生メッセージ

青少年の非行・被害防止全国強調月間 inKYOTO に高校生を代表して、京都府立東宇治高等学校から放送部と生徒会役員が参加しています。

私たちが生活している中で、必要不可欠な存在であるスマートフォンは、いつでもどこでも使えるという便利な反面、常に危険と隣り合わせであることを忘れてはいけません。

昨年府内では、薬物乱用によって多くの少年が補導されました。これは平成 28 年から少しずつ減っては来ていますが、未だに多いのが現状です。令和に入ってから、大麻の所持や吸引などの事柄が大きく報道されました。なぜ、大麻や覚醒剤といったものが手に入るのでしょうか。それは現代インターネットなどで、中学生や高校生でも容易に手にすることができる環境があり、これが一番の原因だと私は思います。

インターネットには大麻や覚醒剤といった薬物が、安全だ合法だといった、間違った情報がたくさん存在しています。そのような身近な情報から薬物に手を出してしまった例も後を絶ちません。薬物乱用には、良いことがひとつもありません。自分だけでなく、家族や友人にも迷惑をかけてしまいます。そのようなことにならないためにも、薬物乱用にはどのような危険性があるのか、今一度再確認する必要があると言いたいです。

私たちは、これから大人になって行きます。その過程で、周りから聞いた情報を、何が正しく何が間違っているかを、しっかり判断していくべきだと思います。私たちはまだ高校生ではありますが、社会に出る一歩手前の年代です。立派な大人になれるように、いつも支えてくださっている学校の先生方や親に感謝して毎日を過ごしていきます。どうか、私たちが成長していく姿を見ていてください。

令和元年 7 月 6 日

京都府立東宇治高等学校
生徒会長 宮崎快利